

秋山英夫 あきやま えいふ ドイツ文學者、文學博士。明治四十四年八月七日石川縣金澤生れ、平成二年四月六日歿（一九二一年）。本名朝日英夫。昭和九年東京帝國大學文學部獨逸文學科卒。金澤大學教授。

譯書に、ステファン・ツワイク著『ジョゼフ・ラーシエー變貌の政治家』（高橋禎）共譯、昭和十四年五月二十日河出書房。再刊、シュテファン・ツワイク著『ジョゼフ・ラーシエー』二十六年五月十五日岩波書店「岩波新書」のち『ジョゼフ・ラーシエーある政治的人間の肖像』五十四年三月十六日「岩波文庫」、ニーチエ著『この人を克ぶ』・アンチクリスト』（昭和二十六年三月二十日角川書店「角川文庫」）、シュテファン・ツワイク作『マラー・アントアネット』全三冊（高橋禎）共譯、上・昭和二十七年十一月五日、中・二十八年一月二十五日、下・二月二十五日。改訂全三冊、上・五十五年六月十六日、下・七月十六日岩波書店「岩波文庫」、ニーチエ著『悲劇の誕生』（昭和四十一年六月十六日岩波書店「岩波文庫」）、『美しき人生のため』リルケの言葉』（昭和五十九年二月二十日社会思想社）等。著書に、『トーマス・マンとニーチエ』（昭和二十年十月二十五日大日本雄弁会講談社）、『Oの文学（新リルケ論）』（昭和二十一年七月二十五日大日本雄弁会講談社「ミリオーン・ブックス」）等。

